

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第十二号

OB会総会報告

平成十七年五月二十日(金)

三菱樹脂本社 会議室

総会 出席者九十一名

司会進行 岩田常任幹事

(一) 高橋会長挨拶

本日は、大和田名誉会長を始めとして、卒寿を越された岡様以下、多数の会員のご出席を賜りありがとうございます。また地方支部会員の方も二十名出席いただき、なかでも一番遠い九州支部から六名の方が参加され、ありがとうございます。申し上げます。

本会は平成二年十月に発足しましたので、本年は十五周年になります。この間会員数も逐年増え発足時の三倍を超す約五八〇名になりましたことはご同慶の至りでございます。しかしこの一年の間に九名の方が亡くなられたことは痛惜のかぎりでありまして、心からご冥福をお祈り申し上げます。

恒例の年一回の総会は東西交互に長浜と平塚で開催して参りましたが、首都圏の中でも千葉、埼玉など神奈川とはやや離れた地区にお住まいの方々の便も考慮し、かつ新幹線その他交通の便も平塚より東京の方が便利ということもあり、今年には懇親会を含め東京で開催することにいたしました。会社にはこの会議室を貸与して頂いたほか、いろいろと便宜をはかっていただきありがとうございます。お礼申し上げます。

来年は順番に従って長浜での開催を予定しております。今回は工場開催でないで、工場見学の前代わりには総会前の催しとして旧岩崎邸の見学を企画しましたが、半数を超す多数の方の参加を得られました。

岩崎邸は内外の賓客をもてなすため建てられたといわれていますが、私も先日見学して、明治二十九年という年にこのような贅を尽くした内装を伴う西洋スタイルの建築が行われたことに、岩崎家の財力もさることながら、明治の上り調子の澁刺とした活気・気概を感じさせられました。日本の現況も漸くバブル崩壊後の沈滞から立ち直りつつありますが、早く八十年代以前の勢いを取り戻すことを願うものです。

OB会の活動の基本としては、会員の親睦の増進と、高齢化社会の一員としての心身の活性化へのお役立ちに引き続き努めて参りたいと存じております。

地方在住会員の増加に即して本部のほか、長浜、九州、大阪、名古屋の四支部体制を整えましたが、古屋の四支部体制を整えましたが、お配りした報告書の末尾のレクリエーション活動報告に記載した通り、本部のみならず各支部での活動が年々活発になっております。これは偏に各支部長、支部幹事のご努力と会員のご協力の賜物と感謝いたします。

謝申し上げます。また、会報「OB会だより」の発行、名簿の更新発行、ホームページの編集活動ならびに全地域にわたる情報ネットワークの更新整備作業も、担当幹事のご努力と、関連する会員の方々のご協力で、継続して内容の充実が進んでいることに感謝申し上げます。今後とも、今後ともよろしくご協力のほどお願いいたします。



OB会の財政状況は、後ほど会計報告いたします。引き続く低金利のため基金の運用利子が見込めなく一般会計は赤字続きでございます。先に取り崩した第二基金による繰越金で暫くは凌いでいけると存じます。

我々の母体である三菱樹脂社の業績については、後ほど懇親会の席で神尾社長よりお話があると存じます。原材価格上昇の逆風のなか、「事業構造改革」と「意識

行動変革」を核とする「プラス50」作戦の遂行によって克服し、前期を上回る増益を達成し、増配を実現されたことに心からお喜び申し上げます。共に、現役の皆様のご努力に厚く敬意を表する次第でございます。

また懇親会の席には社長のほか経営会議メンバーの平盛秀正、富山憲一、佐藤洋介、飯箸弘、柴田喜三、井尾義明の方々と中西英二総務人事部長をお招きしておりますので、いろいろ現況についてお話を承ることができると存じます。結びに、本総会にあたり三菱樹脂社ならびに関係会社各位からご祝儀を頂戴したことをご報告し、各社に厚くお礼申し上げます。

(二) 会務報告 岩田常任幹事

(1) 物故会員報告。昨年度は九名の物故者がおられ、その御霊に全員で黙祷しご冥福をお祈りした。

(2) 傘寿お祝い贈呈報告。七名の方に御祝いを贈呈した。総会ご出席の坂本堅一、森口勝、高橋義衛の三氏に全員拍手をもって御祝いの意を表した。

(3) 会員現勢報告。平成十七年三月末現在会員総数は五七三名、内新入会員二六名。

(4) 平成十六年度OB会決算報告。平成十六年度定期総会収支決算報告。OB会基金決算および予算報告。平成十七年度OB会予算説明。

(5) 小原会計監事から監査報告。

(6) 役員改選の件。菅澤武彦氏が顧問に就任された。市村義雄氏が幹事を退任され、代わって佐藤昌二氏が幹事に就任された。相馬義一氏が九州支部長に就任された。小原眞二氏が会計監事を退任され、代わって谷口勝利氏が就任された。

(7) 前記の決算、予算、役員改選の諸議案について出席者全員異議無く承認を得て、総会終了。



懇親会 (三菱ビル十五階三菱倶楽部) 出席者九十四名

司会進行 加藤常任幹事
開会挨拶 高橋会長

説明 神尾章社長挨拶と会社概況

一年前の長浜のOB会で自己紹介と連結経営中期計画をご披露した。今年はその中期計画の二年目に入ったが、一年目を総括して概況をご説明したい。

幸いにして連結営業利益、経常利益はともに十四年ぶりに過去最高益を更新することができた。一九九一年に六九億円のそれまでの最高益をあげたが、昨年度はそれを上回る連結経常利益九一億円を計上することができた。

原材料値上がり分の約半分を製品価格の値上げに転嫁することができ、残りは自らのコスト合理化で乗り切ることができた。中でも頑張ったのは管材事業である。住関連事業、ヒシメタルも非

常に健闘してくれた。プレートも予算の倍額を達成してくれた。グループ会社では日本ポリペッコ、三宝化成、菱樹化工が好成績であり、分社化した設備機器関係のヒシテックが順調に黒字を達成してくれた。



財務体質も大幅に改善することができた。自己資本比率は三二・六%、有利子負債も一時の半分以下になり四百億円を切ることで、自己資本対借入金比率も一を切り〇・七となった。

配当はこれまで四円であったものを五円に増配させていただいた。JCRの格付けもつい数年前のトリプルBマイナスという厳しい評価から念願のシングルAマイナスの評価を得た。これにより九月に償還時期を迎える転換社債八四億円についてリファイナンスする条件が整った。

今年度はお客様に満足していただける新商品を次々に生み出すことと、物づくりを抜本的に改革すること、この二つのテーマを全力をあげて実行していきたい。また、今年もコストハーフで五十億円以上の実績を上げたい。

三カ年計画の経常利益目標、ROAの目標を計画の一年前倒しで実現したい。借入金金の返済も同じく一年前倒

して今年実現したい。できうるならば今年も最高益を更新したい。

今年度は足元を固めると同時に攻めの態勢に入り、成長戦略に軸足を移し、三菱樹脂の得意とする分野で将来の成長が実現できる前向きな諸施策をうたいたい。

今までは事業部最適化を目標にしていたが、これからはセグメント最適化を目標に進めていきたい。来年二月に創立六十周年を迎えるので、これを記念して長浜の築後八十八年を経た縮緬工場の名残であるのこぎり屋根の建屋を三階建てで研究開発棟に建て替える構想を暖めている。

OBの方には引き続き現役の者に対し温かいご支援を賜りたい。

乾杯・懇談

大和田昇名誉会長のご発声で乾杯し、懇談に移りました。

中締

広瀬勉氏のご発声で三菱樹脂社ならびにOB会のさらなる発展を祈って三本締めでお開きとなりました。



旧岩崎邸見学

参加者四十七名。今回は東京開催なので、工場見学に代えて旧岩崎邸見学をオプションメニューとした。

三菱ビル前を十二時二十分にバスで出発。台東区池之端の旧岩崎

邸まで約三十分バスの中で久しぶりに会えた仲間と話がはずむ。



岩崎邸は岩崎家の集まりや外国人や賓客を招いてのパーティなどに使用する目的で、ジョサイア・コンドルの設計で明治二十九年に完成した。

建物は戦後、GHQに接収され、例のキャノン機関が使っていた。その後最高裁判法研修所として利用されたりしたが、平成十三年東京都の管理となる。洋館、撞球室、和館大広間等が重要文化財に指定されている。

約一時間半の見学の後、不忍通りから白山通りを経て、東大、後立劇場の前を通過し、日比谷、有楽町を経由して三菱ビルに戻る。短時間の見学コースであったが、変貌する東京を瞥見することができ、バス中での会話を楽しんだひとときであった。

総会懇親会出席者

(会社) 神尾章社長、平盛秀正専務、富山憲一常務、佐藤洋介常務、飯箸弘常務、井尾義明所管、柴田喜三所管、中西英二総務人事部長

(本部) 大和田昇名誉会長、高橋義衛会長、木下英俊顧問、宮部義一顧問、菅澤武彦顧問、相川武夫、麻生昌則、荒木秀浩、安藤明義、安藤忠雄、井伊國裕、石井美、石川治男、石橋正康、市村義雄、伊藤和生、伊藤敬輔、井東政蔵、岩崎俊二郎、岩田幸三、大庭忠利、岡秀明、小原真二、鹿島静哉、加藤進、亀田美、菊間眞次、木沢英雄、木下巧、木原仁博、黒川亮、黒田正夫、久保秀雄、小松繁、栄谷暢恭、坂井大和、坂本堅一、佐藤昌二、佐野弘毅、澤田耕輔、塩澤敏行、渋谷和明、島本進、下瀬英樹、谷口勝利、辻輝彦、土屋倭章、寺岡四郎、徳光文徳、鳥居正義、永井正義、野中矩仁、橋田理、長谷川義男、花田正一郎、浜田幸三、原田浩次、平松久、広瀬勉、藤井良寛、部谷宣之、堀河勲、牧野邦彦、増原雄甫、松内俊夫、森口勝、安田久雄、山上章三郎、山田守士、山口一、山根邦章、山本猛、山本博之、吉井靖、吉野貴士、渡辺芳秋、渡部一蔵 (長浜) 金澤淳三、佐伯清忠、柴田壽一、富岡秀雄、夏川清、森川栄壽、山本貞生 (大阪) 宮本二四彦、町田富美夫、山口滋 (名古屋) 伊藤壽、合原精一、高橋恭明、速水幹男 (九州) 岩野利生、岩尾正道、菊浪義信、佐古田英男、相馬義一、田中一英 (敬称略)

第五回 OB会作品展

神奈川県民ホール第一展示室 平成十七年二月二日～二七日 作品展には会期中一日百人以上の来場者があり、どの方も会員の作品を熱心に鑑賞してくださいました。会期半ばの二五日には「歩こう会」の仲間が揃って来場してくれました。

今回の作品展は出展者二三名、作品六十点余りで、絵画・書画部門では作品出展の都合がつかない等の理由で出展を辞退された方もあり、昨年に比べ大幅に減少し、代わりに写真部門の出展が多かった。



篆刻、能面および民芸品など磨き抜かれた技の作品が数々みられ、「三菱樹脂OB会作品展」の目玉である作品が来場者の関心を集めていた。来場者からは、出展者の実力が逐年向上しているのがはっきり分り、作品の質が高まっているという評価が得られ、毎年

見に来るのが楽しみであると思いを漏らしている方もあった。しかし今後の作品展の将来を考えると出展者数と作品数の減少は由々しき問題であり、新たな出展者と出展作品の確保が最重要課題である。

今回の開催時には、従前の出展者に加え、新たな出展者を期待するので、ジャンルを問わず、制作を進めている方の出品をお願いしたい。

出品者 相川武夫、奥宗治、坪井駿三、中村俊一、野中矩仁、平松久、加藤進、下瀬英樹、川実信、山田守士、奥マサ子、楠吉雄、青山新太郎、安藤忠雄、久保秀雄、永松啓至、西林公助、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、山崎公子、山本猛、吉井道郎、(柳澤知男記)

歩こう会

本部第四十五回歩こう会

小石川寺町を歩く

平成十七年三月三十一日(木) 参加者二十三名 安彦隆、石川晃司、石塚和男、石橋正康、市村義雄、岩田幸三、香川重雄、加藤進、木澤英雄、木原仁博、近藤久美、坂本堅一、下瀬英樹、高橋健二、高橋義衛、柘植茂、徳光文徳、原田浩次、藤原志朗、松内俊夫、宮下和久、山上章三郎、山本猛

後楽園東京ドームの見える三田線春日駅に十三時集合。

徒歩三分の源覚寺に向かう。源覚寺は別名「こんにやく閻魔」として有名。(眼病治癒の願掛けでこんにやくをお供えする。)歩を進め、善光寺坂を上がったところにある信州善光寺の分院である善光寺を訪れる。隣の慈眼院、沢蔵司稲荷では桜のつぼみは開花寸前。

家康の生母於大の方の菩提寺伝通院へ。境内には葵の紋の入った墓石が幾つもある。昨年のNHK大河ドラマ新撰組に登場した清川八郎の墓を探しながら散策。

小石川植物園に向かう。徳川綱吉の別邸跡で、吉宗の命により作られた御薬園と小石川養生所があったところでもある。青木昆陽がサツマイモの試作に成功したのも当地。ニュートンのりんごの木、世界で始めて精子が発見されたソテツ、ハンカチの木等々めずらしい木がたくさんある。いろいろな種類の桜があり、満開の桜の木にカメラが群れていた。日本庭園や梅園等を一時間ほど散策する。



播磨坂を若荷谷駅に向け歩を進める。拓殖大の傍らの深光寺で里見八犬伝の滝沢馬琴の墓を眺め、隣の林泉寺で「縛られ地蔵」(盗難失せものかもどるようにと地蔵尊に縄をかけ願をかける)を見学し、若荷谷駅へ。歩数一万四千歩。(石橋正康記)

長浜支部歩こう会 「中山道 摺針峠」

平成十七年五月三十一日(火) 参加者十四名 石地正一、大西義夫、岩根信次、梶道信、川崎誠吉、後藤健二、富岡秀雄、馬場智寿、武蔵秀夫、森隆男、森川栄寿、世森幹治、西沢芳朗、柴田清廣

番場宿・鳥居本宿を通る中山道を中心に約十二キロ歩く計画に挑戦し、江戸時代の旅人気分を満喫した。午前九時に米原駅前を出発し、米原湊の宿場駅・米原宿にある北国街道と中山道へ向かう分岐点の道標を右に曲がり、一路深坂道を小一時間歩くと中山道へ出て、中山道六十二番目の宿場・番場宿に到着。

番場宿の街道筋から山手に逸れたところにある蓮華寺で小休止。蓮華寺には南北朝の合戦に敗れて鎌倉へ逃れる途中、敵に囲まれてこの地で自刃した北条仲時と従士の墓があり、戦乱の鎌倉末期のありさまを偲ぶ。番場の宿場町を抜けて、だからと坂を上って一時間ほど歩き摺針峠に到着。

峠からは眼下に琵琶湖が望め、竹生島も遠望できるが、当日は霞がかかり眺望はいまひとつ。峠の頂上にある誓願寺で早めの昼食休憩。

記念撮影後、峠を後にして坂道を下って鳥居本宿へ。鳥居本宿には本陣、脇本陣、旅籠など

は残っていないが、一キロ近く続く街並に点在する格子戸付の屋敷や、万治元年(1800)創業の腹痛薬で有名な赤玉神教丸本舗の屋敷などがあり、泊まり客で賑わった規模の大きい宿場町を想起することができた。



休憩の後、草津宿へ続く中山道と別れて彦根道を彦根へ向かう。途中の佐和山の麓で、佐和山城跡へ登山する組と彦根駅へ向かう組と二手に分かれる。

佐和山登山組六名は急坂のハイキング道を辿って、標高三百メートルを越える頂上にある佐和山城本丸跡まで登り、地形からみて、ここが戦国時代に戦略的に重要な城であったことを納得して帰路に就いた。(柴田清廣記)

大阪支部花見の宴

平成十七年四月四日

京都円山公園鳥久

参加者 熊倉寛、奥田公具、松本弘、山本功、南光弘、小森喜成、宇塚正、内藤次生、岡本益弘、福井久、平井穰、宮本二

四彦、山口滋その他合計十七名 三月の寒気の影響で今年の桜前線は停滞している。京都円山公園の各種の桜も全体的にまだ蕾の状態である。午後六時開宴。山口支部長の挨拶に続き宮本さんの音頭で乾杯酒宴となる。

今回は川崎さんが初参加、現役の山浦嬢、古川嬢が加わりこれは桜花にも優るとして頗る賑やかなる。まだまだという声押し切り散会、二次会組の六人が夜陰に紛れ祇園から花見小路へと消えていった。(熊倉寛記)



ゴルフ同好会

第二十三回本部ゴルフ会

平成十七年五月十九日(木)

湘南カントリークラブ

参加者十三名 荒木秀浩、市村義雄、亀田実、久保秀雄、坂本堅一、菅澤武彦、高橋健二、高橋義衛、永井正義、西野盛雄、西林公助、山田守士、山本猛

汗ばむほどの好天に恵まれた中で開催しました。暑さのためか、いつもよりやや成績が悪かった方もいたようですが、旅の疲れもものともせず、二回目の参加で優勝されたのは菅澤顧問でした。高橋会長はじめ八十歳以上の大先輩もお元気で、懇親会は大いに盛り上がり幹事が会計を心配するほどでした。坂本部長の提案で、今後は開催場所を湘南CCに一本化するのと、次回を十月に行うことを決めて散会しました。

優勝 菅澤武彦さん
準優勝 永井正義さん
ベストグロ 市村義雄さん

(山本猛記)



第二十四回長浜ゴルフ会
平成十七年五月十日(火)
彦根カントリークラブ

参加者 雨森作仁、岩根信次、加藤勲、神部勇作、北川浩生、草野康雄、後藤健二、柴田弥蔵、柴田壽一、笹原榮之助、高橋恭

明、田辺太美雄、竹田善祐、辻彦太郎、中村民夫、中山勉、村上左門、村上孝司、藤田稔、野田和久、松宮正之、森川栄寿、山口滋、山田知男、山田孝夫、柴田清廣



関西支部の山口さん、雨森さん、名古屋支部の高橋恭明さんも参加いただき、二十六名での盛大な大会になりました。

主な入賞者
優勝 草野康雄さん
準優勝 柴田壽一さん
第三位 加藤勲さん

恒例のオネストジョンゲームの一位はS氏一人で、また馬券は五名の方が高配当を分け合いました。(柴田清廣記)

第二回千葉オープンゴルフ

平成十七年四月二十七日(水)

成田多古カントリー倶楽部

参加者十五名 石橋正康、岩田幸三、北川忠澄、君塚康、関守二、鶴岡英雄、徳永英之、西林公助、橋田理、東田浩作、牧原稔、水島晃、安田久雄、山崎勲、山本猛

千葉オープンゴルフ同好会は現在登録会員二十名。安田幹事の挨拶後、スタート。起伏の少ない林間コースではあるが、池ありドッグレグがあるので、アンジュレーションのある高麗グリーンにも悩まされる。

主な入賞者

優勝 徳永英之さん
準優勝 山本猛さん
第三位 水島晃さん

ベストグロ 徳永英之さん
次回は徳永優勝幹事の提案で、十月末大網の新千葉CCの予定。



(石橋正康記)

フォトサークル2000

第十一回撮影会

平成十七年四月八日(金)

参加者 鶴岡英雄、永松啓至、西林公助、山崎勲、柳沢知男、山本猛、吉井道郎、青山新太郎
今回初参加の鶴岡さんを含めて総勢八人、中央線高尾駅に集合、森林科学園を目指す。

ここは三年前にも撮影会を開いたところ。全国から集めた多

品種の桜が一斉に咲いていると思いきや、今年は例年より開花が遅れているようで、ここでも蕾あり、ちらほら咲きあり、満開ありとどりどりで撮影には支障なく、広い園内を思い思いに撮り歩く。

一旦集合して昼食の後、昭和林道、柳沢林道と青空に映える桜花を眺めカメラに収めて森林科学館にいたる。

今日の成果は来年のOB会作品展で披露される予定。ところで撮影に夢中になって、つい全員集合記念写真を撮るのを忘れていました。

(青山新太郎記)

OB会事務局から

▽会員数

全会員数 五八五名 本部三二五名
長浜一七五名 大阪三七名
名古屋二一名 九州二七名(平成十七年五月三十一日現在)

▽訃報

佐藤誠殿 平成十七年二月十二日逝去
佐藤三郎殿 平成十七年二月二十八日逝去

慎んでお悔やみ申し上げます。

▽傘寿祝呈呈

明吉章一殿、伊藤和生殿、坂本堅一殿、高橋義衛殿、濱辺正剛殿、森口勝殿、饗場敏三殿

▽役員改選

菅澤武彦氏 顧問就任
相馬義一氏 九州支部長就任
市村義雄氏 幹事退任
佐藤昌二氏 幹事就任
小原眞二氏 会計監事退任
谷口勝利氏 会計監事就任

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7-2F
(株)ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚彦 TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837

編集委員

加藤進
黒川亮
柴田清廣
原田浩次
吉井靖

TEL/FAX:03-3709-3610
TEL/FAX:047-447-2881
TEL/FAX:0749-65-7834
TEL/FAX 045-621-3355
TEL/FAX:045-811-9390

e-mail ssmkato@u01.gate01.com
e-mail heichuan@nifty.com
e-mail shibapin@guitar.ocn.ne.jp
e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
e-mail yoshiiya@skyblue.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.obkai.mpi-mrc.co.jp/>